

## 平成29年度事業報告

県防連の事業運営につきましては、財政的に厳しい面はあるものの、従前どおり公益法人関連法等を遵守し、平素から県内54の単位防犯協会による防犯ボランティア活動を支援することを目的として、また、単位協会間の調整役としての機能の発揮に努め、各種事業を推進しました。

さて、平成29年度の日本を取り巻く世界の情勢を見ますと、英国、フランスを中心として欧州各地でテロが頻発したほか、北朝鮮は国際社会の非難、批判、制裁措置を一顧だにせず、度重なるミサイル発射実験を行うとともに、6回目の核実験を強行するなど、国際情勢は緊迫の度合いを高めました。

国内的には、7月5日から6日にかけて福岡県、大分県を中心とした九州北部を記録的な集中豪雨が襲い甚大な被害をもたらしましたが、その後も台風18号が日本列島を縦断し四国等で大きな被害をもたらしました。年が明けて、この2月には数十年振りといわれる大雪が日本海側を中心として列島各地を襲い記録的な豪雪になるなど、自然災害も多く発生しました。

兵庫県内に目を転じますと、やはり9月12日に神戸市長田区五番町で発生した、神戸山口組による任侠山口組員に対する銃器使用による殺人事件が、県民に対して極めて大きな衝撃を与えました。この事件については、流れ弾等により善良な県民、一般人が巻き添えに遭わなかったことが幸いでしたが、目的達成のためには手段を選ばず、法を無視する暴力団の危険性を示すとともに、壊滅すべき対象であることを改めて示した事件であったと考えます。

このような難局に当たって、実行力ある長期安定政権によって国民の生命、財産を始め安全と安心を守る外交、国防政策の着実な遂行が期待されるとともに、経済については、より一層雇用・所得環境を改善し、経済の好循環による景気回復が望まれるところですが、アメリカの保護主義的な外交通商政策、北朝鮮に対する対応、あるいは平成30年度予算審議という国政にとって極めて重要な時期に、厚労省による国会への不適正なデータの提出が問題となったほか、特に財務省による文書改ざん問題は社会的反響が極めて大きく、国会が紛糾、空転し、政局が大揺れとなりましたが、検察の捜査が進展し、司法の場において一日も早い真相が究明されることにより、国民の疑念や不信感が払拭されることを期待するところです。

治安情勢につきましては、刑法犯認知件数が15年連続で減少していますが、その中で、特殊詐欺については増加の一途をたどり、平成29年中の被害件数は全国で18,201件、被害金額は約390億円、本県では認知件数が766件、被害金額も14億6千万円を超えており、また、社会的弱者である女性や子どもに対する性犯罪被害等も依然として発生している状況にあります。

上記の暴力団員射殺事件等では警察による強力な取締り、国防面では自衛隊に私どもの生命、安全を委ねることとなりますが、国防が従来のようにアメリカに頼るばかりでは為し得ないのと同様に、警察、自衛隊に対する国民、県民の協力は不可欠であり、ま

た、地域の安全・安心のためには、その一翼を担う地域の防犯ボランティアによる地道な「街の安全」を守る活動の重要性がより一層増していると考えるところであります。

このような状況の中、県防連では、平成29年度も犯罪被害の減少と、「安全で安心して暮らせるまち」の実現を目指し、引き続き「みんなでつくろう安心のまち」をスローガンとして、

- ・ 防犯組織の拡充強化と地域安全活動の推進
- ・ 少年の健全育成及び非行防止活動の推進
- ・ 覚醒剤等薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の推進
- ・ 暴力団追放運動の推進
- ・ 防犯優良マンション・防犯設備優良住宅認定制度の促進

を図るため、警察をはじめ、関係機関・団体等と連携・協働しながら、下記のとおり各種事業を推進しました。

## 記

### 第1 定例会の開催

#### 1 第17回理事会

6月1日午後、兵庫県林業会館において、来賓に森本参事官兼生活安全企画課長をお迎えして開催し、平成28年度事業報告、決算報告、第10回定時総会日程、正会費額の見直し、賛助会員の入会について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告、事務局長の採用、理事及び監事候補者の選任案、会長感謝状の贈呈について報告しました。

#### 2 第10回定時総会

6月16日午後、兵庫県民会館において、来賓に有田生活安全部長をお迎えして開催し、平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、理事及び監事の選任、正会費額の見直しについて審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、平成29年度事業計画、予算、事務局長の採用及び新単位協会会長の就任について報告しました。

#### 3 第18回理事会

6月16日第10回定時総会后、兵庫県民会館において、会長、副会長及び専務理事の選定の件について審議され、原案どおり承認されました。

#### 4 第19回理事会

平成30年3月2日午後、兵庫県民会館において、来賓に寺道生活安全部犯罪抑止対策官をお迎えして開催し、平成29年度補正予算案、平成30年度事業計画案、予算案等について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況、賛助会員の入会、新単位協会会長の就任、第11回定時総会の開催日程等の報告を行いました。

#### 5 平成29年防犯功労者等表彰式

6月16日午後、兵庫県民会館において、来賓に山口兵庫県政策創生部長、小藤兵庫県地域安全課長、有田兵庫県警察生活安全部長等をお迎えして開催しました。

武内県防連会長の挨拶、山口兵庫県政策創生部長のご祝辞の後、下記の皆様に対

して表彰状の授与及び感謝状の贈呈を行いました。

- ① 優良防犯団体表彰：灘防犯協会琵琶支部 以下16団体
  - ② 善行青少年団体表彰：滝川第二中学校・高等学校及び津名中学校生徒会
  - ③ 善行青少年個人表彰：淡路防犯協会 豊田英里奈様
  - ④ 防犯功労者表彰：東灘防犯協会 小楸晴彦様 以下65名
  - ⑤ 防犯功労警察官感謝状：警察本部生活安全企画課 竹林博之様 以下15名
- 合計18団体81名

## 7 防犯協会職員研修会及び意見交換会

平成30年1月23日午後、兵庫県民会館において、来賓に森本直行参事官兼生活安全企画課長をお迎えし、武内会長及び木村副会長ご出席の下、県下単位防犯協会職員に対する研修会を開催しました。

今回は、警察本部生活安全企画課調査官から、昨年9月12日長田区内で発生し、市民、県民に大きな衝撃と不安を与えた暴力団員射殺事件に関して、県警察が本部、長田署ほか関係部署等と事件発生直後から実施した緊急対策について、「事件発生時の子どもの安全対策について」と題した講演を拝聴し、万一地元の子ども達に危険が及ぶ事態が発生した場合の防犯ボランティア団体の対応の在り方等について研鑽を深めるとともに、最近の犯罪情勢と防犯対策、少年非行の現状と少年の健全育成について、それぞれ担当補佐から講義を頂き、今後の防犯活動の糧としました。

また、本年度は地区防犯協会の事務職員多数の交替があったことから、以後、相互に連携強化を図っていただき、お互いに助言や協力を得られる雰囲気醸成することを目的として、新たに着任した事務局職員の自己紹介と質疑応答を行い、その親睦、融和と平素の疑問点等の解消に努めました。

なお、研修会終了後、会長、副会長の参加を頂き、単位防犯協会職員有志、県防連職員による懇親会を開催しました。平素接触することのない会長、副会長と単位協会の職員が親睦を深めるとともに、職員同士もお互いに平素の業務に係る悩み等について意見交換を行うなど、有意義な時間を持つことが出来ました。

## 第2 事業概要

### 1 県防連事務局の自主事業

#### (1) 防犯ポスター・防犯標語コンクールの実施

6月9日兵庫県林業会館において、県立高校学校長（美術教師）、県地域安全課副課長、県警察生活安全企画課担当者、同少年育成課担当者、暴力団追放兵庫県民センター広報相談課長及び県防連専務理事を審査委員として実施しました。

結果は下表のとおりです。

テーマ	区分	防犯ポスターの部		防犯標語の部	
		応募総数	全防連推薦数	応募総数	全防連推薦数
鍵かけ、声かけによる窃盗被害の防止		22	6	80	6
インターネット利用犯罪の被害防止		25	6	61	6
暴力団への加入阻止		30	6	35	7
計		77	18	176	19

参 考 事 項	1. 全防連表彰の該当者は1件(標語「鍵かけ、声かけによる窃盗被害の防止」(丹波)) 2. 県防連では、テーマごとに最優秀1点、優秀2点、佳作3点を選出し、会長名で表彰しました。
---------	--

※ 青色回転灯装備車の活動中の写真部門については、8点の応募作品から3点を全防連に推薦するとともに会長名で表彰しました(全防連表彰の該当無し)

(2) 地域安全ニュースコンクールの実施

9月27日及び28日の2日間、県警本部1階ロビーにおいて、計19単位防犯協会から出品された計36点の作品を県警幹部らの審査により、地域安全ニュース部門、機関誌部門及び写真部門に分けてコンクールを実施し、各単位防犯協会の広報・啓発資料等の作成技能の向上に努めるとともに、それぞれの部門から最優秀、優秀及び佳作を各1点選出して、表彰状及び商品券を贈呈して、広報・啓発意識の向上に努めました。

(3) 善良な風俗の保持及び風俗環境浄化事業の推進(収益事業)

県防連は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づき、兵庫県公安委員会から「兵庫県風俗環境浄化協会」として指定され、警察本部長からの業務委託を受けて、下記とおり、風俗営業に係る新規許可申請及び構造変更承認申請に伴う現地調査業務を合計161件実施しました。

また、風俗営業管理者に対する法定講習につきましては、6月から翌年3月までの間に下記のとおり、計12回、計619人に対して実施し、管理者の管理能力の向上と遵法意識の高揚に努めました。

なお、上記講習は業種ごとに概ね3年に1度実施しており、本年度は1号営業(接待飲食店)を対象として実施しました。

受講者に対しては、法定の講習内容に加えて、現下の犯罪情勢、暴力団情勢の説明と暴力団排除機運の醸成、特殊詐欺の被害防止等について講話するなどして、県下の犯罪等の抑止のための広報・啓発に努めました。

業種別現地調査件数及び管理者講習受講者数

区分	新規許可申請					構造・設備の変更承認申請			合計	管理者講習			
	1号	4号		5号	小計	1号	4号			小計	1号営業	回数	
月別	号	パチンコ	麻雀	号	特定遊興	計	号	パチンコ	麻雀	計	計	数	
4	3		4			7		3	1	4	11	0	0
5	8		1		1	10				0	10	0	0
6	13					13			2	2	15	64	1
7	12		1			13		1		1	14	61	2
8	17				1	18				0	18	41	1
9	7				2	9	1			1	10	132	2
10	12		1	1		14	1			1	15	56	1
11	5		1	1		7		1		1	8	66	2
12	10		1	1		12		2		2	14	25	1
1	8			1		9	1			1	10	64	1

2	15	1	4			20	1	1		2	22	0	0
3	8	3		1		12	1	1		2	14	110	1
合計	118	4	13	5	4	144	5	9	3	17	161	619	12

(4) 兵庫県防犯優良マンション認定制度事業

本事業は、「地域安全まちづくり条例」（平成18年兵庫県条例第3号）に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、犯罪に遭いにくい構造・設備の基準を充足した集合住宅（マンション）を「防犯優良マンション」に認定し、防犯性の高い安全快適な住宅環境を提供する制度として、平成19年度に運用を開始し、本度末までに計119件を認定しています。その進捗状況は下表のとおりです。

\* 認定実施機関

- ① 公益財団法人 兵庫県住宅建築総合センター
- ② NPO法人 兵庫県防犯設備協会
- ③ 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

【 進 捗 状 況 】

区分/年度	19～20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
申請件数	17	16	27	17	11	15	8	7	6	3	127
認定件数	3	12	27	19	13	13	13	7	7	5	119

注) 申請年度と認定年度は整合しません。

(5) 兵庫県防犯設備優良住宅認定制度事業

本事業は、兵庫県防犯優良マンション認定制度に準ずるものとして、「地域安全まちづくり条例」及び「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、兵庫県防犯優良マンション認定制度の対象外である戸建て住宅等を対象として、防犯優良建物部品等を取り入れるなど必要な防犯対策を施した住宅を「防犯設備優良住宅」として認定し、防犯性能に優れた住宅を提供する制度として、6月12日から運用を開始しましたが、本度末では計2件の認定に止まっています。

\* 認定実施機関

- ① NPO法人 兵庫県防犯設備協会
- ② 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

(6) 兵庫県防犯優良駐車場登録制度事業

平成23年度にNPO法人兵庫県防犯設備協会との合同事業としてスタートした事業ですが、25年度以降の申請はなく、現時点の登録駐車場は下記の3箇所のみです。

- ① 姫路市塩町所在「パーキング富貴」49台
- ② 姫路市南町所在「富貴・駅前パーキング」72台
- ③ 神戸市中央区所在「P-CLUB中山手通」88台

(7) 第29回兵庫県警察少年柔道・剣道大会の開催

8月1日、兵遊協福祉基金及び（一財）武井スポーツ育英会からの寄附金を活

用し、グリーンアリーナ神戸において、柔道27チーム計170人、剣道45チームの計305人、合計475人の選手が出場し、保護者ら延べ約2,000人の観衆の中、熱戦が繰り広げられ、大きな応援と拍手が送られました。結果は次表のとおりです。

区分	優勝	準優勝	第3位		敢闘賞
柔道	兵庫少年こだま会柔道部	社柔道少年団	宝塚正道館	黒田庄柔道少年団	垂水やわらクラブ、三木柔道クラブ、相生警察署、赤穂氏柔道協会
剣道	須磨警少年剣修会	あぼし剣友会	赤穂剣道連盟	妙法寺少年剣道クラブ	葺合少年剣友会、兵庫少年こだま会剣道部、常光寺精錬会、福崎町柔道協会

(8) 企業対象の情報セキュリティセミナーの共同開催

県警サイバー犯罪対策課では、平成26年度から開催している企業対象の情報セキュリティセミナーを本年度は県下4会場において開催しました。このうち11月30日、神戸市中央区所在のみなと銀行セミナーホールにおけるメインのセミナーについては、商工会議所連合会等の関係団体と共同開催により、民間企業の受講者200人を対象として、警察本部担当者からサイバー犯罪の現状について説明が行われたほか、セキュリティ専門家による講演等を通じて、情報セキュリティ対策の普及啓発に努めました。

なお、県防連の賛助会員には開催の案内状を送付しました。

(9) 地域安全運動プレイベントの開催支援

10月11日から10日間実施された全国地域安全運動のプレイベントとして、10月7日須磨水族園において、全国地域安全運動の啓発イベントを開催しました。当日は、県警生活安全部・須磨警察署・県地域安全課と県防連が協働してパトカー・白バイ展示、イルカショー・ペンギンショーを活用した広報啓発のほか、神戸市立須磨翔風高校和太鼓部、私立啓明学院高等部チアリーディング部の参加を得て、それぞれ和太鼓演奏、チアリーディング等でイベントを盛り上げていただき、神戸市内の小学生、父兄その他の来園者多数に対して、地域安全運動の浸透と防犯活動の必要性を訴えるとともに、防犯意識の高揚に努めました。

(10) 「特殊詐欺被害に対する防犯力を高めるための講習会」の開催

警察本部生活安全企画課では、地域安全運動初日となる10月11日、激増する特殊詐欺被害の防止を目的として、県民会館において、「特殊詐欺被害に対する防犯力を高めるための講習会」と題して、特殊詐欺の現状説明、防犯優良機器（電話機等）の展示紹介、落語家による防犯講話を内容とする講習会を開催、県防連では、神戸、阪神地区(一部)及び明石の各単位防犯協会会員の参加を呼びかけ、当日は多数の会員皆様の参加を得て、特殊詐欺についての現状認識を新たにするとともに知見を深めることができ、また、単位協会における今後の防犯活動への大きな参考となりました。

(11) 防犯カメラの設置促進

犯罪発生後の被疑者検挙のみならず、犯罪抑止力としても大きな力を発揮している防犯カメラの有用性は論を俟たず、本年度においても兵庫県から500台分、神戸市から250台分の防犯カメラ設置補助金が交付されたほか、他の自治体にお

いても設置を補助し、あるいは自主事業として防犯カメラの設置が進められています。県民、市民の安全確保と安心感の提供のために、今後とも各自治体による積極的な支援が継続されることを期待するところであります。

なお県防連専務理事は、兵庫県の防犯カメラ選定審査委員となっており、防犯カメラの適正な設置場所の選定等に関して助言等に努めました。

(12) 平成29年度兵庫県警察少年健全育成研究会の開催支援

平成30年2月19日午後、警察本部において、兵庫県青少年課、県下各教育委員会の関係者、県下各警察署少年警察担当者らが一堂に会して、研究会を開催しました。

今回の研究会では、第1部でNPO法人チェンジングライフ理事長による「非行を犯した少年の立ち直りの現状と問題点」と題する講演、第2部では非行から立ち直りに成功した少年3人を招いて、当該少年の立ち直りを支援した警察官、教職員との座談会を開催し、非行少年の立ち直りに向けた実践的な研究会となり、参加者から好評を得ました。

(13) 少年の健全育成と有害環境の排除活動等の推進

ア 機関紙・ポスター・地域安全ニュース等の発行等

- ① 機関誌「愛のともしび」(年2回計45,500部)
- ② 薬物乱用防止啓発ボールペン(1,000本)
- ③ ネット被害防止ハンドブック(7,400冊)
- ④ 防犯啓発ポケットティッシュ(56,500個)
- ⑤ 金融機関への犯罪防止啓発小冊子「金融機関の防犯」(5,000冊)
- ⑥ 万引防止のための広報用DVD(1枚(貸出用))
- ⑦ 少年補導員広報紙「みちびき」(11,664冊)

イ 少年の健全育成事業「少年の居場所作り」支援事業への支援

6月9日午後、「須磨海岸」において、学校11校の教員計33人、生徒計84人、警察官27人により海開き前の清掃作業を行い、同作業を通じて社会貢献活動を体験させることにより少年らの立ち直りを図ることを目的とした支援活動に助成しました。

(14) 薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の支援

ア 違法銃器根絶・薬物乱用の防止に向けた街頭キャンペーンの実施

10月2日午前、三宮地下街オーパ前広場において、県警薬物銃器対策課、葺合署、神戸税関、神戸海上保安部、県薬務課及び神戸市保健所が合同でみだしのキャンペーンを実施し、現場で広報用チラシとともに県防連が寄贈した啓発用ボールペンを配付し、違法銃器根絶・薬物乱用防止の重要性を訴えました。

なお、この啓発用ボールペンは、他地区で実施される同趣旨の街頭キャンペーンにおいても活用され、好評を得ているとの報告を受けています。

イ 薬物乱用防止教室の開催

県警薬物銃器対策課、少年育成課が地域安全ニュース等を活用して社会人から小学校低学年(保護者等含む)までを対象として開催する薬物乱用防止教室

を開催し、薬物乱用の危険性、害悪性についての啓発事業を支援をしました。

#### ウ 兵庫県銃器対策推進本部の活動支援

同本部の広報啓発部会メンバーとして運営会議に出席するなどして、広報活動のあり方等について検討を行うなどしています。

#### (15) 県警キャラクター「まもりちゃん」着ぐるみの貸し出し

平成26年度に購入した「まもりちゃん」の着ぐるみは、県警県民広報課へ貸与しており、各種行事、キャンペーン等において効果的に活用されており、警察と市民の架け橋役として定着しています。

#### (16) 関係機関・団体との連携

本年度も県企画県民部地域安全課、同健康福祉部健康局薬務課、神戸市危機管理室、神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課及び警察本部組織対策局組織犯罪対策課、同生活安全部生活安全企画課、生活環境課、少年育成課、サイバー犯罪対策課並びに防犯関連の各種団体・機関との連携を保持しました。

#### (17) 近年の賛助会員年度別入会状況 (金額単位：千円)

年 度	24	25	26	27	28	29	備 考
入会数	8	5	3	4	3	4	
金 額	140	100	50	270	30	50	

#### (18) 近年の年度別寄附受納状況 (金額単位：千円)

年 度	24	25	26	27	28	29	備 考
件 数	3	4	4	4	5	5	
現 金	2,600	3,600	3,600	3,600	3,800	3,750	
物 品	青パト 1台	青パト 1台	青パト 1台	青パト 台	青パト 1台	青パト 1台	29のみ関西遊技機商業協同組合から、その他は日本宝くじ協会から

## 2 単位防犯協会との共同事業等

### (1) 組織の整備と活動の活性化

#### ア 単位防犯協会支部等の活動

各単位防犯協会においては、各支部長を中心として、地元自治会、防犯ボランティア団体等との「防犯パトロール、街頭キャンペーン」を実施し、組織力の拡大と活動の強化を図りました。

県連連では、本活動を支援するため、ラジオ関西558Mzのスポット放送(20秒)で「防犯一言コメント」を月6本、年間72本を流しています。

#### イ 防犯連絡所の活動

県内約1,800箇所の防犯連絡所から、警察署又は交番・駐在所に対して、地域住民等から持ち寄せられた各種相談から事件関係、防犯関係、少年関係、交通事故関係等の各種情報を提供するなどして、警察と地域住民とのパイプ役となり、また地域住民の安心感の醸成に寄与しています。

#### ウ 少年保護活動の推進

「県防連会長」が委嘱した県下の少年補導員2,666名が、子どもの登下校時における見守り活動並びに有害広告物の除去や青少年健全育成を目的に、年間



を通じて街頭補導活動を実施しました。

また、7月3日午後から兵庫県民会館において、少年補導功労者・同団体に対する表彰式を開催し、計12名、4団体に対して兵庫県少年補導員連絡協議会会長表彰を授与しました。

エ 兵庫県教育委員会主宰の「トライやる・ウィーク」については、各警察署と協働して中学2年生を受け入れ、振り込め詐欺撲滅対策の一環として、広報用チラシの作成・配布、空き巣多発地区におけるマイク広報や「のぼり旗」の設置などを行いました。

## (2) 総合的な地域安全活動等自主防犯意識の普及促進

### ア 自主防犯意識の高揚

侵入犯罪やひったくり等の街頭犯罪の防止を図るため、各単位防犯協会が各警察署と協働し、自治会、町内会を始め、PTA、婦人会、子供会等に防犯対策等の情報を発信して自主防犯意識の高揚に努めました。

### イ 平成29年地域安全運動兵庫県民大会の共同開催

10月19日午後、兵庫県公館において、参加者約500人の中、県知事、県警察本部長等のご臨席を得て、みだしの県民大会を開催しました。

主催者である会長等の挨拶・来賓紹介に続き、(公財)全国防犯協会表彰金章4名、銀章8名、銅章24名、同団体表彰1団体、近畿防犯協会連絡協議会表彰14名及び同団体表彰2団体に対して表彰の伝達、授与が行われました。

各種表彰の後、県議会議長、公安委員長の祝辞、最後に、芦屋防犯協会婦人部法兼茂子さんが代表して「人とのつながりや関係機関との連携を大切にし、犯罪の起きにくい社会づくりに向けて地域ぐるみで取り組む」旨の大会宣言をもって第1部を締めくくり、第2部は神戸市出身の落語家「桂三若」氏による特殊詐欺をテーマとした創作落語の「防犯講話」が行われ、参加者は特殊詐欺の様々な手口、詐欺被害に遭わないための注意点等について、機知に富んだ落語の中から各種ポイントを聞くことができ、好評を得ました。

この他、各単位防犯協会においても、自治体等と連携するなどして、地域実態に応じた「住民安全大会」等を開催し、地域安全運動を盛り上げました。

## (3) 暴力団追放運動の推進

六代目山口組の分裂により結成された「神戸山口組」が内輪もめから、その一部が「任侠団体山口組」を名乗り、暴力団情勢が先行き不穏な状況となっていた中の9月12日、長田区内で神戸山口組が任侠山口組員を射殺する事件が発生しました。この事件は、長田区民はもとより、市民、県民に大きな衝撃と不安を与えるとともに、目的のためには手段を選ばず、銃器を使用して殺人を犯す暴力団の危険性を改めて浮き彫りにし、暴力団排除の必要性を県民に再認識させた事件でありました。

このような中、11月8日神戸文化ホールにおいて開催された「平成29年度暴力団追放兵庫県民大会」には、瀬戸内沿線の単位防犯協会長を始め、多数の協会の参加をいただき、兵庫県民の暴力団追放意識の高揚に努めました。

# 平成29年度決算報告

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
I	資 産 の 部			
	1 流 動 資 産			
	現 金 預 金	16,449,133	16,786,689	-337,556
	未 収 金	415,281	394,876	20,405
	流 動 資 産 合 計	16,864,414	17,181,565	-317,151
	2 固 定 資 産			
	(1) 特 定 資 産			
	退職給付引当金預金	46,835	497,634	-450,799
	特 定 資 産 合 計	46,835	497,634	-450,799
	(2) そ の 他 の 固 定 資 産			
	什 器 備 品	164,643	297,036	-132,393
	投 資 有 価 証 券	3,000,000	3,000,000	0
	そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	3,164,643	3,297,036	-132,393
	固 定 資 産 合 計	3,211,478	3,794,670	-583,192
	資 産 合 計	20,075,892	20,976,235	-900,343
II	負 債 の 部			
	1 流 動 負 債			
	未 払 金	73,440	0	73,440
	預 り 金	807,692	893,305	-85,613
	流 動 負 債 合 計	881,132	893,305	-12,173
	2 固 定 負 債			
	退職給付引当金	46,835	497,634	-450,799
	固 定 負 債 合 計	46,835	497,634	-450,799
	負 債 合 計	927,967	1,390,939	-462,972
III	正 味 財 産 の 部			
	1 指 定 正 味 財 産	0	0	0
	2 一 般 正 味 財 産	19,147,925	19,585,296	-437,371
	(うち特定資産への充当額)	(46,835)	(497,634)	(-412,539)
	正 味 財 産 合 計	19,147,925	19,585,296	-437,371
	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	20,075,892	20,976,235	-900,343

# 貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 資 産 の 部										
1 流 動 資 産										
現金預金	2,793,315	693,912		3,487,227		10,208,885		10,208,885	2,753,021	16,449,133
未収金	0			0		415,281		415,281		415,281
流動資産合計	2,793,315	693,912	0	3,487,227	0	10,624,166	0	10,624,166	2,753,021	16,864,414
2 固 定 資 産										
(1) 特 定 資 産										
退職給付引当金預金	23,893	4,733		28,626	4,512	4,311		8,823	9,386	46,835
特定資産合計	23,893	4,733	0	28,626	4,512	4,311	0	8,823	9,386	46,835
(2) その 他 固 定 資 産										
什器備品	102,423	62,217		164,640	1	1		2	1	164,643
投資有価証券	3,000,000			3,000,000				0		3,000,000
その他の固定資産合計	3,102,423	62,217	0	3,164,640	1	1	0	2	1	3,164,643
固定資産合計	3,126,316	66,950	0	3,193,266	4,513	4,312	0	8,825	9,387	3,211,478
資 産 合 計	5,919,631	760,862	0	6,680,493	4,513	10,628,478	0	10,632,991	2,762,408	20,075,892
II 負 債 の 部										
1 流 動 負 債										
未払金	8,640	64,800		73,440				0		73,440
預り金	241,320			241,320				0	566,372	807,692
流動負債合計	249,960	64,800	0	314,760	0	0	0	0	566,372	881,132
2 固 定 負 債										
退職給付引当金	23,893	4,733		28,626	4,512	4,311		8,823	9,386	46,835
固定負債合計	23,893	4,733	0	28,626	4,512	4,311	0	8,823	9,386	46,835
負 債 合 計	273,853	69,533	0	343,386	4,512	4,311	0	8,823	575,758	927,967
III 正 味 財 産 の 部										
1 指 定 正 味 財 産				0				0		0
2 一 般 正 味 財 産 (うち特定資産への 充 当 額 )	5,645,778 (23,893)	691,329 (4,733)		6,337,107 (28,626)	1 (4,512)	10,624,167 (4,311)		10,624,168 (8,823)	2,186,650 (9,386)	19,147,925 (46,835)
正 味 財 産 合 計	5,645,778	691,329	0	6,337,107	1	10,624,167	0	10,624,168	2,186,650	19,147,925
負債及び正味財産合計	5,919,631	760,862	0	6,680,493	4,513	10,628,478	0	10,632,991	2,762,408	20,075,892

# 正味財産増減計算書

自平成29年4月1日  
至平成30年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,478,000	3,478,000	0
賛助会員受取会費	5,510,000	5,160,000	350,000
事業収益			
防犯優良マンション事業収益	506,880	618,840	-111,960
風俗環境浄化受託事業収益	3,262,155	2,920,412	341,743
認証シール事業収益	5,645,000	5,885,000	-240,000
注意喚起表示板犯罪事業収益	1,000	0	1,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,120,000	3,120,000	0
少年補導員受託収益	4,302,000	4,524,000	-222,000
受取寄付金			
受取寄付金	3,750,000	3,800,000	-50,000
雑収入			
受取利息	155	460	-305
有価証券利息	16,800	16,800	0
雑収入	152,060	190,392	-38,332
経常収益計	29,744,050	29,713,904	30,146
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	13,363,240	13,087,060	276,180
退職給付費用	561,000	545,000	16,000
福利厚生費	2,138,101	2,025,126	112,975
旅費交通費	386,940	302,110	84,830
通信運搬費	706,572	690,205	16,367
減価償却費	132,393	274,073	-141,680
消耗品費	284,689	218,831	65,858
印刷製本費	1,227,042	984,808	242,234
光熱水料費	830,165	1,033,577	-203,412
賃借料	736,116	725,916	10,200
保険料	971,927	968,728	3,199
諸謝金	60,000	20,000	40,000
租税公課	606,400	627,100	-20,700
支払負担金	201,188	272,088	-70,900
少年補導員活動費	1,333,000	1,333,000	0
支払寄付金	10,000	10,000	0
普及宣伝費	2,481,615	2,615,257	-133,642
車両運搬費	73,932	26,233	47,699
雑費	2,484	129,348	-126,864
事業費計	26,106,804	25,888,460	218,344

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
管理費									
	給料手当	1,049,810			935,000			114,810	
	退職給付費用	55,000			55,000			0	
	福利厚生費	199,990			140,750			59,240	
	会議費	548,122			559,580			-11,458	
	旅費交通費	217,610			207,546			10,064	
	通信運搬費	188,692			119,662			69,030	
	消耗品費	328,904			311,901			17,003	
	印刷製本費	99,440			90,172			9,268	
	光熱水料費	67,000			83,000			-16,000	
	賃借料	58,000			61,000			-3,000	
	諸謝金	155,188			181,404			-26,216	
	租税公課	101,900			112,900			-11,000	
	負担金	872,188			797,612			74,576	
	雑費	132,773			178,687			-45,914	
	管理費計	4,074,617			3,834,214			240,403	
	経常費用計	30,181,421			29,722,674			458,747	
	当期経常増減額	-437,371			-8,770			-428,601	
2	経常外増減の部								
(1)	経常外収益								
	経常外収益計	0			0			0	
(2)	経常外費用								
	経常外費用計	0			0			0	
	当期一般正味財産増減額	-437,371			-8,770			-428,601	
	一般正味財産期首残高	19,585,296			19,594,066			-8,770	
	一般正味財産期末残高	19,147,925			19,585,296			-437,371	
II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0			0			0	
	指定財産期首残高	0			0			0	
	指定正味財産期末残高	0			0			0	
III	正味財産期末残高	19,147,925			19,585,296			-437,371	

# 正味財産増減計算書内訳表

自平成29年4月1日  
至平成30年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益目的事業会計				法人会計	合計
	防犯活動 推進事業	少年非行防止 活動事業	共通	小計	環境浄化 受託事業	認証制度 シール事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費										
正会員受取会費	1,739,000			1,739,000				0	1,739,000	3,478,000
賛助会員受取会費	3,500,000	400,000		3,900,000				0	1,610,000	5,510,000
事業収益										
防犯優良マンション事業収益				0				0	506,880	506,880
風俗環境浄化受託事業収益				0	3,262,155			3,262,155		3,262,155
認証シール事業収益				0		5,645,000		5,645,000		5,645,000
注意喚起表示板犯罪事業収益						1,000		1,000		1,000
受取補助金等										
受取地方公共団体補助金	2,600,000	520,000		3,120,000				0		3,120,000
少年補導員受託収益		4,302,000		4,302,000				0		4,302,000
受取寄付金										
受取寄付金	3,150,000	600,000		3,750,000				0		3,750,000
雑収入										
受取利息				0				0	155	155
有価証券利息	16,800			16,800				0		16,800
雑収入	150,000			150,000				0	2,060	152,060
経常収益計	11,155,800	5,822,000	0	16,977,800	3,262,155	5,646,000	0	8,908,155	3,858,095	29,744,050
(2) 経常費用										
事業費										
給料手当	6,776,000	1,949,980		8,725,980	1,923,053	2,714,207		4,637,260		13,363,240
退職給付費用	210,000	92,000		302,000	44,000	215,000		259,000		561,000
福利厚生費	837,942	375,260		1,213,202	334,170	590,729		924,899		2,138,101
旅費交通費	55,000	31,200		86,200	300,740			300,740		386,940
通信運搬費	239,581	175,926		415,507	179,925	111,140		291,065		706,572
減価償却	91,371	41,022		132,393				0		132,393
消耗品費	99,628	34,067		133,695	117,750	33,244		150,994		284,689
印刷製本費	1,033,830	172,044		1,205,874	21,168			21,168		1,227,042
光熱水料費	217,165	240,000		457,165	80,000	293,000		373,000		830,165
賃借料	354,399	181,800		536,199	76,917	123,000		199,917		736,116
保険料		971,927		971,927				0		971,927
諸謝金	60,000			60,000				0		60,000
租税公課	200,200	113,600		313,800	47,700	244,900		292,600		606,400
支払負担金				0	62,800	138,388		201,188		201,188
少年補導員活動費		1,333,000		1,333,000				0		1,333,000
支払寄付金	10,000			10,000				0		10,000
支那両面運搬費	2,075,495	406,120		2,481,615				0		2,481,615
雑費	864	864		1,728	73,932			73,932		73,932
事業費計	12,261,475	6,118,810	0	18,380,285	3,262,155	4,464,364	0	7,726,519		26,106,804
管理費										
給料手当									1,049,810	1,049,810
退職給付費用									55,000	55,000
福利厚生費									199,990	199,990
旅費交通費									548,122	548,122
通信運搬費									217,610	217,610
消耗品費									188,692	188,692
印刷製本費									328,904	328,904
光熱水料費									99,440	99,440
賃借料									67,000	67,000
保険料									58,000	58,000
諸謝金									155,188	155,188
租税公課									101,900	101,900
支払負担金									872,188	872,188
雑管理費									132,773	132,773
経常費用計	12,261,475	6,118,810		18,380,285	3,262,155	4,464,364		7,726,519	4,074,617	4,074,617
当期経常増減額	-1,105,675	-296,810		-1,402,485	0	1,181,636		1,181,636	-216,522	-437,371
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計				0				0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計				0				0	0	0
他会計振替額	994,864	186,772		1,181,636		-1,181,636		-1,181,636		0
当期一般正味財産増減額	-110,811	-110,038		-220,849	0	0		0	-216,522	-437,371
一般正味財産期首残高	5,756,589	801,367		6,557,956	1	10,624,167		10,624,168	2,403,172	19,585,296
一般正味財産期末残高	5,645,778	691,329		6,337,107	1	10,624,167		10,624,168	2,186,650	19,147,925
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額				0				0		0
指定正味財産期首残高				0				0		0
指定正味財産期末残高	0			0				0		0
III 正味財産期末残高	5,645,778	691,329		6,337,107	1	10,624,167		10,624,168	2,186,650	19,147,925

# 財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場 所 ・ 数 量	使 用 目 的 等	当 年 度
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
手 持 現 金	手 元 保 管	運 転 資 金 と し て	50,000
普 通 預 金	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	2,493,355
	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	241,320
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	914,379
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	530,322
	兵庫県警察信用組合本店	運 転 資 金 と し て	2,242,139
	みずほ銀行神戸支店	運 転 資 金 と し て	9,977,618
現金預金合計			16,449,133
(2) 未 収 金	環境受託収入 2,3 月分		415,281
流動資産合計			16,864,414
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当金預金	三井住友銀行神戸公務部		46,835
特定資産合計			46,835
(2) その他の固定資産			
什 器 備 品	パソコン 4 台	各 事 業 に 使 用	1,346
	シュレッダー 1 台	各 事 業 に 使 用	1
	まもりちゃん着ぐるみ 1 体	公 益 目 的 事 業	163,296
投資有価証券	第 398 回 大 阪 府 公 募 公 債 (10 年)	公 益 目 的 事 業	3,000,000
その他の固定資産計			3,164,643
固定資産合計			3,211,478
資 産 合 計			20,075,892
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金			73,440
預 り 金		マンション申請料・社会保険料・所得税	807,692
流動負債合計			881,132
2 固 定 負 債			
退職給付引当金			46,835
固定負債合計			46,835
負 債 合 計			927,967
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			0
2 一 般 正 味 財 産			19,147,925
(うち特定資産への充当額)			(46,835)
正 味 財 産 合 計			19,147,925
負債及び正味財産合計			20,075,892

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の保有区分は満期保有目的であり、「総平均法による原価法」によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定率法による。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給与引当金

平成24年11月に中小企業退職金共済に加入し、当年度分掛金は各事業会計から、過去勤務分掛金は引当金資産を取り崩し支出している。

#### (4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

### 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	497,634	1	450,800	46,835

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	46,835	0	1	46,835

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	708,589	707,243	1,346
シュレッダー	199,500	199,499	1
着ぐるみ	756,000	592,704	163,296
計	1,664,089	1,499,446	164,643

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
兵庫県補助金	兵庫県	0	3,120,000	3,120,000	0

## 付属明細書

### 1 特定資産の明細

区 分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産	退職給付引当資産	497,634	1	450,800	46,835

### 2 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	497,634	1	450,800	0	46,835

目的使用とは、中小企業退職金共済の過去勤務分掛金及び専務理事退職金である。